

二年生の様子

二年担任 安藤 亮司

四月当初は、初めての進級で戸惑いや緊張も見られました。少しづつ友達との関わりも増え、できることややりたいことが出てきた二年生です。そんな二年生の様子ををご紹介します。

国語では、「たんぼぼのちえ」でたんぼぼが子孫を残すために四つの知恵を働かせていることを学びました。校庭で咲いているたんぼぼを見て、「今は軸を休ませているんだね。」と、学習したことを確かめ、嬉しそうに伝える姿が見られました。

算数では、たし算、ひき算の筆算のやり方を学習しました。繰り上がりや繰り下がりの計算に初めは苦戦していましたが、練習を積み重ねるうちに、徐々に定着してきています。

生活科では、入学したばかりの一年生に学校の中を案内しました。上級生になった自覚をもち、笑顔で優しく声をかけられました。一年生からお礼を言われると、嬉しそうに「また遊ぼうね。」と答えていました。

五月中旬に一人一鉢のミニトマトを育て始めました。こまめに水やりをし、ミニトマトをしつかりと育てることができています。ミニトマトの成長を観察し、様々な変化に気付くと同時に、「早く食べたいな。」と思いを馳せていました。

音楽朝会に向けて、音楽の授業だけでなく、休み時間にも熱心に楽器の練習をする姿が見られました。本番では、練習の成果を發揮し、自信溢れる表情で歌ったり演奏したりすることができました。

これからも、体験活動を通して多くのことを学んでいきます。二年生の成長を是非ご期待ください。

夏の健康な生活について

生活健康部 神田 麻依子

七月になり、夏らしさをより感じるようになりました。夏休みももうすぐです。子供たちが夏を健康に、そして安全に過ごすことができるよう、保護者の皆様には次の四つのことをお子さんと確認していただきたいと思えます。

一つ目は、「ハンカチ・ティッシュ」の携帯です。毎日きれいなハンカチで過ごせるようお願いいたします。また、体操着の袋に汗ふきタオルを入れておくのもいいです。子供はたくさん汗をかきます。身の回りのことは自分でもできるように声をかけています。

二つ目は、暑さに負けない体づくりです。気温が上がりに始める初夏から、日常的に適度な運動を行い、適切な食事や十分な睡眠をとるとよいです。これが、熱中症の予防になるそうです。

三つ目は、家に帰る時間です。夕方の時間帯でも空はまだ、明るくなっています。大田区では、午後五時になると防災放送で音楽が流れます。音楽が流れたら家に帰る合図です。まだ大丈夫と思っても時間が過ぎていくことがあります。ご家庭でも家に帰る時間を今一度確認してください。

四つ目は公共の場での過ごし方です。警察の方の話によると、六、七、八月に補導する件数が増えていくようです。夏休みに向けて気持ちが変わるんでいくようです。SNSとの関わり方を含め、自分と他者が安全に気持ちよく過ごすための社会的ルールについて日頃から話題にしていたけると幸いです。

夏休みの前には「なつやすみのしおり」を配布します。その中には、健康で安全に過ごすための注意もあります。学校ではしおりを配るときには、子供たちに話をしながら配っています。ご家庭でも必ずご覧いただいて、健康で安全な生活が送れるようご配慮ください。

水泳指導

体力向上部 丸山 陽平

六月一八日より水泳指導が始まりました。本校では「一に安全、二に指導」を重点に一人一人が水泳に対する恐怖心をなくし、安全かつ楽しく学習に参加できるようにしています。水泳は体力向上には最適な運動です。子ども一人一人が、楽しみながら体力を向上できる指導を行うことで、体を動かすことの素晴らしさを感じてほしいと思っています。また、泳ぎの苦手な児童に重点を置き、一つの泳法でより長く泳ぐことができるよう指導しています。そうすることで、水泳を行う場合に守らなければいけない心得や安全面・保健面から注意しなければならぬ事項を理解させ、自己の生命を安全に保持する能力を高めるとともに、水に対しての自信をもたせます。

一年生は初めての小学校のプールとあって、「速く泳げるようになりたいな。」と目を輝かせています。六年生にとっては小学校生活最後の水泳です。六年間で学んだことを生かし、最後まで楽しく一杯泳ごうとする意欲がうかがえます。二年生から五年生も一人一人が昨年よりも級・段を上げようと目標を立てて取り組んでいます。

今年も四年生は着衣泳の授業を行います。水の事故は、海、川、湖などの自然環境において着衣のまま発生することが多いです。授業を通して、水の事故を未然に防いだり、事故に遭った場合に浮いたり、呼吸を確保したりして、自己の命を守る方法を学びます。水泳指導や着衣泳を実施の際には、ご準備をよろしく願いたします。